

公立高校入試情報 神奈川県

【数学】

令和3年度神奈川県入試の全体傾向

- 昨年から大問数は7問から6問になった。小問数は25問でほぼ例年通り。
- 大問1～3が小問集合で、合同の証明問題(空欄補充形式)は、大問3で出題。また、同じく大問3では、資料の活用で、相対度数の折れ線グラフから読み取れることがらを選ぶ問題や、1次関数の利用、連立方程式の利用の問題が出題された。
- 関数のグラフと図形の融合問題(大問4)、確率(大問5)、空間図形(大問6)は例年通りの出題。
- 大問3・4・5・6の一部を除き、マークシート形式が採用されている。

■ きまりをもとに考える問題の出題

・きまりをもとに考える問題がよく出題されている。問題文をしっかりと読みこなし、そのきまりに従って解く力をつけておく必要がある。

■ 関数と図形の融合問題の出題

・例年どおり、1次関数や放物線のグラフと図形を融合させた問題が出題された。動点と面積の変化の問題もよく出題されるので、対策が必要である。

★神奈川県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名/項目	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式	●	●		●
		方程式		●	●	
		比例と反比例			●	
		平面図形				
		空間図形	●	●	●	●
		資料の活用	●		●	●
	2年内容	式の計算	●	●	●	●
		連立方程式			●	●
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方				●
		三角形		●		
		平行四辺形		●	●	●
		確率	●	●	●	●
	データの比較と箱ひげ図	/	/	/	/	
	3年内容	式の計算	●	●	●	●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
相似な図形		●	●	●	●	
円の性質		●	●	●	●	
三平方の定理		●	●	●	●	
標本調査			●			
出題形式別の傾向	大問数		7	7	6	6
	小問数		23	25	24	25
	記述問題	図形の証明(説明)				
		その他の説明・証明など				
		立式・解法の過程の記述				
		作図(図形)				
作図(グラフ)						